



に執行するにも限界があるので、今後はセーフティネット支援対策等事業という国の制度を活用し、就労支援員や面接相談員の配置も含めて、支援体制の充実を図ってまいりたい。

（掲載以外の質問事項）

- 二 茨城県の推進している農家民宿開設事業について
- 三 基金の管理と適正な運用について

グループホームの安全・防災対策について



荒井 武 議員

△質問▽
長崎県大村市で七人のお年寄りが亡くなった認知症の高齢者グループホームの火災は、小さい介護拠点が主流になる中で、非常時にお年寄りの安全をどう守るかという課題を浮き彫りにした。本市にもグループホーム施設は十八カ所十九棟あり、消防本部では、どう安全、防災対策を講じたのか伺う。

△消防長▽

市内の同様のグループホー

ムに対し、長崎県の事故直後立入検査を実施している。予防対策として、宿直者及び介護者における初期消火等の消防訓練の実施、火災の原因となるたばこ等について就寝前における点検の励行、緊急時における近隣住民への協力体制の構築等について徹底を図るとともに、各消防署所においてグループホーム及びその付近の警防調査を強化するなど、死傷者の発生防止に努めている。

（掲載以外の質問事項）

- 一 ① 行財政改革による市民サービスの向上から、行政機構に政策担当員・室の設置を
- 二 ② 行財政改革による市民サービスの向上から、行政機構に政策担当員・室の設置を

新土浦市をPR（広報）するための目玉は



盛 良雄 議員

△質問▽
新治村と合併し、新しい土浦市が誕生した。新市を今以上に発展させるには、市当局はもちろん、市民こそって行財政改革等に取り組みとともに、来外者

や定住者を増やすため、機会あるごとに土浦をPR、広報する必要があるので、PRすべき目玉について、市長にまとめて説明いただきたい。

△市長▽

東京から六十キロ圏内で我が国第二の大きさを誇る霞ヶ浦がすぐ脇にあり、今度は万葉の世から名峰と歌われた筑波山の山麓からの地域を有する新治村が加わり、水と緑に恵まれた都市であるということが、まず第一点で誇っていると思う。また、江戸時代初期からの歴史的な城下町で、市内随所に面影が残っていること、日本一と言われる全国花火大会、新治のからかさ万灯や流鏑馬、生産量日本一のレンコンなどがアピールできるものと思っている。

（掲載以外の質問事項）

- 二 公立中学校の教科書選定等について



増加しているゴミの最終処分について



宮本 孝男 議員

△質問▽
焼却灰やカレット等の最終処分について、白鳥処分場への埋め立てが行われていることは認識しているが、その他にはどのように処理をされているのか。近い将来、新治地区のゴミの処理もすることになるので、当然処分量が増え、現行の処理方法では処理能力が限界に達することは必ずである。このことについてどのように考えているのか、伺う。

△市民生活部長▽

ゴミの最終処分については、土浦地区においては白鳥町にある一般廃棄物最終処分場で、新治地区においては環境クリーンセンターから三カ所の処分場へ運ばれ処分している。白鳥処分場は、ゴミの減量化や焼却効率の向上により、当初計画より埋立量が減少しているため、現在の埋立量で推移するとした場合、平

新年度予算編成に当たって市債発行の考え方は



福田 一夫 議員

成三十一年度までの二十年間埋立処理が可能であると予測している。今後も、さらなるゴミの減量化と施設の適正な管理に当たってまいりたい。

（掲載以外の質問事項）

- 一 旧新治村特別職の取扱いについて

△質問▽

土浦市の市債残高は、平成十年度の九百三十四億二千五百万円をピークに、徐々に減少してきており、今後もこれを維持すべきと考える。この度の予算編成に当たり、どのように金利動向を考え、市債の額を決定されたのか。また、今後の経済情勢、社会情勢を視野に入れ、合併特例債の活用を検討された中でどのような考えで市債発行を行っているのか、伺う。

△市長▽

市債の発行に当たっては、元利償還金が後年度の財政構